

2023 年度 名古屋大学宇宙地球環境研究所

01) 「国際共同研究」公募要項

1. 公募事項

名古屋大学宇宙地球環境研究所 (ISEE) では、宇宙太陽地球システムの包括的研究を行い、太陽活動による地球環境変動、宇宙天気予測、極端気象をはじめとする地球環境問題と宇宙利用の課題を解決するための国際共同研究を推進しています。本国際共同研究は、これらの研究事業の一環として、日本国内の大学及び研究機関に所属する研究者と本研究所の教員が協力して国際共同研究を推進・展開し、関連する SCOSTEP、Future Earth、国連などの国際共同研究プログラムとも協力しながら、宇宙地球環境に関する研究を発展させるものです。このため、研究代表者は、日本国内の大学や研究機関に所属する方を要件とします。また、提案される国際共同研究は、研究体制の中に外国機関に所属する研究者を含んでいるものとします。

なお、観測データのデータベース構築に関する共同研究は、本研究所の「データベース作成共同研究」にご応募ください。

2. 申請資格者

- ①日本国内の国・公・私立大学及び国・公立研究機関に所属している研究者（学生は含まない）、またはこれらに準ずる研究者
- ②本研究所長が特に適当と認めた者

3. 申請方法

- ① 本共同研究を希望する場合は、申請時に所属機関の内諾を得た上で、研究課題、研究内容、経費等について事前に本研究所の受入責任教員（特任教員を除く常勤の教員）と十分な打ち合わせをしてください。また、海外を研究の拠点とする研究者が一名以上、研究体制に入っている必要があります。なお、経費は、共同研究を遂行するために必要な国内、海外の旅費や物件費（「8. 所要経費」参照）を計上してください。
- ② 申請は、"Joint-Research On-line Integrated System (JROIS)" 共同利用・共同研究申請サイト (<http://jrois2.isee.nagoya-u.ac.jp>; 昨年までの URL とは異なっておりますのでご注意ください) から行っていただけます。申請書の書式ファイルは本研究所のホームページからダウンロードできます。以下の URL をご覧ください。
研究所ホームページ：<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp>
ダウンロードページ：<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/co-re/co-re-application.html>
- ③ 申請に当たっては、予め、上記の JROIS サイトにおいてログイン ID の取得が必要です。ただし、過去にログイン ID を取得された方は、同じ ID で今年度もログインが可能です。新規に申請される方は、ログイン ID 申請後、パスワード発行の e-mail が届きます（この e-mail のスパムメールへの振り分けにご注意ください）。取得した ID でログインし、「01) 国際共同研究」の応募ページで、課題名、所内受入責任教員、所内対応者部署（関連する共同利用・共同研究委員会専門委員会（総合解析、太陽圏宇宙線、電磁気圏、大気陸域海洋、年代測定、航空機利用）を入力してください）、所内対応者の e-mail を入力した後、作成した申請書（別紙様式 01）を Zip ファイルにしてアップロードし、申請期限までに提出してください。グレーアウト部分は入力不要です。
- ④ 継続申請の研究課題については、申請時、該当欄に本年度までの研究の進捗状況を入力してください。
- ⑤ 第 4 期中期計画期間（2022–2027 年度）においては、共同利用・共同研究の多様化と新たな展開を目指し、申請者による提案型の「融合研究」「萌芽研究」を積極的に支援します。宇宙科学と地球科学、あるいは他の分野との融合、新しい分野の開拓を通して、これまで実現できなかった課題（グランド・チャレンジ）に挑戦する提案を歓迎します。これらの「融合研究」「萌芽研究」の申請課題は審査を通して優先的に採択され、採択額（申請額に対する配分割合）が高くなる可能性があります。この提案を行う場合には、申請書の(3)の該当欄に「1」を入力し、(13)に具体的な内容を記載してください。

- ⑥ 研究代表者としての「国際共同研究」での申請課題は、**1人1件**とします。ただし、⑤の「融合研究」「萌芽研究」の提案を行う場合は、合わせて**2件までの申請が可能**です。また、同じ年度の「ISEE International Joint Research Program」「若手国際フィールド観測実験」「国際技術交流」に、研究代表者として重複して申請することはできません。それ以外のカテゴリ（「研究集会」など）には同時に申請することが可能です。

4. 研究期間

研究期間は、2023年4月1日から2024年3月31日までとします。

複数年にわたる申請の場合は、研究期間は3年以内とします。ただし、年度ごとに継続申請を行っていただきます。（その都度審査を行い、採否を決定します。）

5. 申請期限

2023年1月15日 期限厳守

6. 採択予定件数

25～30件

7. 審査

- ①申請課題は、共同利用・共同研究委員会専門委員会（総合解析、太陽圏宇宙線、電磁気圏、大気陸域海洋、年代測定、航空機利用）、および共同利用・共同研究委員会の審議を経て、本研究所長が決定します。

【審査の観点】

- ・公募事項に合致しているか（「1. 公募事項」参照）
- ・適切な研究体制であるか（海外を研究の拠点とする研究者が一名以上、研究体制に入っているか）
- ・科学的な意義や重要性が認められるか
- ・具体的で実現可能な計画であるか
- ・研究分野の発展に資することが期待される計画であるか
- ・申請経費は妥当であるか

以上の観点に加え、予算のバランスやコミュニティに対する共同研究のあり方も考慮いたします。また、予算配分に関しては、規模の小さな大学や研究機関などの研究者及び若手研究者に配慮します。

- ②審査に当たっては、必要に応じて、研究代表者から説明を聞くことがあります。
- ③応募件数が多数の場合には、採択された課題に対して十分な経費的サポートができるよう採択件数に配慮します。
- ④審査結果については、2023年3月下旬に、研究代表者あてにe-mailで通知します。

8. 所要経費

- ①本共同研究の申請経費は、1件あたり100万円を上限とします。
- ②共同研究に必要な経費（旅費、物件費、及び謝金）を積み上げ、上限額以下で申請してください。なお、人件費は原則として認められません。
- ③ここでいう物件費とは、設備備品費を除く消耗品費、論文投稿料、英文校閲料等です。鉛筆などの一般的な文房具の購入は御遠慮ください。
- ④物件費の支出に当たっては、研究代表者の所属機関（または本研究所）の経理担当者等による検収が必要となります。
- ⑤共同研究の旅費は、**成果報告（国際会議への参加）には使用できません。**
- ⑥共同研究の旅費は、原則として精算払いとなります。

9. 研究報告書

本研究所は大学附置の共同利用・共同研究拠点の研究所であり、本共同研究は、共同利用・共同研究拠点として重要な役割を果たしています。年度毎に研究所のホームページ上でも公開します。また、採択された研究課題については、研究計画や研究成果を本研究所が主催する研究集会等で発表していただくようお願いいたします。研究終了後、JROIS サイトを通して提出期限まで

に報告書の提出手続きを完了させてください。

- ① 「国際共同研究」の報告書（別紙様式 01-1：エクセル形式、別紙様式 01-2：ワード形式）を作成し、**Zip ファイルにまとめてアップロード**してください。別紙様式 01-2 は、図表等を含めて A4 サイズ 1-2 枚程度になるように作成してください。提出原稿は、製本用原稿としてそのまま公開されます。
- ② 本共同研究の成果を論文として発表する場合は、当該論文の謝辞（acknowledgements）の欄に本研究所の共同研究による旨を付記してください。次の例文を参考として挙げておきます。
 - This work was carried out by the joint research program of the Institute for Space–Earth Environmental Research, Nagoya University.
 - This work was performed using the facilities of the Institute for Space–Earth Environmental Research, Nagoya University.
- ③ 本共同研究の成果に関する論文等を公表したときは、速やかに所内受入責任教員にご報告ください。
- ④ 報告書の提出期限は、2024 年 3 月 31 日とします。
- ⑤ 期限までに報告書が提出されない場合、原則として翌年度の採択は取り消しとなります。

1 0. 問い合わせ先

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町
国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学
研究協力部研究事業課（研究所事務部内サテライト）
TEL:052-789-4508
e-mail : k-kyoten at* adm.nagoya-u.ac.jp
(at* を@に変更してご使用ください)

1 1. 共同利用・共同研究によって生じた知的財産権の取扱い

共同利用・共同研究の実施により生じた知的財産権の取扱いは、東海国立大学機構共同研究規程を準用します。

研究協力部研究事業課ホームページ：<http://jigyoka.aip.nagoya-u.ac.jp/contents/1068.html>

(別紙資料)

共同利用に関する事項

[] 内は管理者

詳細はホームページ https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/co_re.html をご覧ください。

(1) 観測・分析機器

多方向宇宙線ミュオン望遠鏡 (東山)	[毛受弘彰]
多地点 IPS 太陽風観測システム (豊川、富士、木曾)	[岩井一正]
ELF/VLF 帯電磁波観測ネットワーク (国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
ISEE磁力計ネットワーク (国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
ISEEリオメータネットワーク (海外の多点観測)	[塩川和夫]
超高層大気イメージングシステム (国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
ナトリウム温度・風速ライダー (トロムソ)	[野澤悟徳]
MFライダー (トロムソ)	[野澤悟徳]
5波長フォトメータ (トロムソ)	[野澤悟徳]
流星ライダー (アルタ)	[野澤悟徳]
SuperDARN北海道-陸別第1・第2短波ライダー (陸別)	[西谷 望]
ゾンデ観測システム (2式)	[坪木和久]
X-bandマルチパラメータライダー (2式)	[坪木和久]
Ka-band雲ライダー	[坪木和久]
HYVIS/ビデオゾンデ受信機	[坪木和久]
大気組成赤外干渉分光器 (陸別)	[長濱智生]
海上波しぶき光学粒子計	[相木秀則]
低バックグラウンドベータ線計数装置	[栗田直幸]
水の安定同位体分析装置 (Picarro L2130-i)	[栗田直幸]
元素分析計・質量分析計	[三野義尚]
CHNS 元素分析計	[南 雅代]
蛍光エックス線分析装置	[加藤丈典]
エックス線回折装置	[加藤丈典]

(2) ソフトウェア/データベース

太陽圏サイエンスセンター (ひので、ERG 等)	[三好由純・草野完也]
磁気圏総合解析データベース (THEMIS 衛星他)	[三好由純]
磁気圏 MHD シミュレーション	[梅田隆行]
運動論プラズマシミュレーションコード	[梅田隆行]
惑星間空間シンチレーションデータ	[岩井一正]
太陽風速度データ	[岩井一正]
れいめい衛星観測データベース	[平原聖文]
ISEE 磁力計ネットワーク観測データ (国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
超高層大気イメージングシステムデータ (国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
ELF/VLF 帯電磁波観測ネットワークデータ (国内・海外の多点観測)	[塩川和夫]
ISEE リオメータネットワークデータ (海外の多点観測)	[塩川和夫]
オーロラ全天カメラデータ (カナダ、アラスカ、シベリア)	[塩川和夫、三好由純]
VHF ライダー/GPS シンチレーション (インドネシア)	[大塚雄一]
EISCAT ライダーデータベース	[野澤悟徳、大山伸一郎]
SuperDARN 北海道-陸別第1・第2短波ライダーデータ	[西谷 望]
雲解像モデル (CReSS)	[坪木和久]
大気組成赤外観測データ (母子里、陸別)	[長濱智生]
二酸化窒素・オゾン観測データ (母子里、陸別)	[長濱智生]

衛星データシミュレータ (SDSU) [増永浩彦]
大気海洋中の波動エネルギー伝達経路解析コード [相木秀則]

(3) 施設等

統合データサイエンスセンター計算機システム (CIDAS システム) [増田 智、梅田隆行、三好由純]
機器校正用イオン・電子ビームライン [平原聖文]
飛翔体搭載機器開発用クリーンルーム環境 [平原聖文]
タンデトロン加速器質量分析システム [北川浩之、南 雅代]
CHIME 年代測定システム [加藤丈典]

母子里観測所 [持田陸宏]
陸別観測所 [水野 亮]
富士観測所 [岩井一正]
木曾観測施設 [岩井一正]
鹿児島観測所 [塩川和夫]